

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会（第25期・第1回）
議事録

日時：令和2年12月7日（月） 11：45～12：50

場所：Zoom

出席者（順不同、敬称略）：

大島まり、小山田耕二、所千晴、吉村忍、伊藤宏幸、伊藤恵理、大出 真知子、
大林茂、梶島岳夫、加藤信介、金子成彦、金田千穂子、金田行雄、河合宗司、
岸本喜久雄、北村隆行、越塚誠一、小林広明、、佐々木直哉、高木周、高田章、
高橋桂子、萩原一郎、藤代一成、松尾亜紀子、矢川元基、
坂本真樹（オブザーバ）

議題：

1) 経緯説明

- ・資料1および2を用いて、世話人の越塚より、本分科会設立の経緯が説明された。
- ・資料3を用いて、本分科会の委員および委員候補が説明された。その後、出席委員より各自の自己紹介があった。

2) 分科会委員長選任

- ・越塚誠一委員が委員長に選出された。

3) 副委員長・幹事指名

- ・会合では、後日の選任を委員長に一任することが承認された。
- ・後日、副委員長には金田千穂子委員、幹事には松尾亜紀子委員および高木周委員が指名された。

4) 25期活動方針等審議

- ・資料5を用いて、分科会の第25期における活動方針案として、分科会会合、シンポジウムの開催、提言などの文書の発出、学術大型研究計画の提案、小委員会活動が説明された。

- ・日本学術会議および関連国際組織の最近の状況について吉村委員より説明された。
- ・分科会では、前期から継続する活動に加えて、中長期的な視点での計算科学の方向性の議論、発信力のアップ、計画と実行の間のギャップのブリッジ、これまでに作成した計算力学参照基準の活用、などの意見があり、25期の活動に加えていくことで、分科会活動案は承認された。
- ・「計算力学小委員会」の設置提案書が越塚より説明された。計算力学に関連する国内の複数の学会より委員を出していただき、計算科学の将来の方向性の議論、計算力学シンポジウムの企画、国際的な活動への協力などを24期から継続して行いたいとの説明があり、承認された。世話人は萩原委員と越塚が務める。
- ・「計算音響学小委員会」の設置提案書が萩原委員より説明された。音響に関する分野横断的な議論を24期から継続して行いたいとの説明があり、承認された。世話人は萩原委員が務める。
- ・「計算科学を基盤とした産業競争力強化の検討小委員会」の設置提案書が佐々木委員より説明された。24期に新たに設置された小委員会であり、シミュレーションソフトウェアの産業利用の現状と課題の調査などを引き続き行い、シンポジウムの実施や報告書のとりまとめを行いたいとの説明があり、承認された。世話人は佐々木委員と金田委員が務める。
- ・新型コロナや東日本大震災など、社会的ニーズからまとめていくことも重要であるとの意見があった。
- ・AI とシミュレーションに関する小委員会を設置すべきであるとの意見があり、越塚が世話人として新たに設置することになった。

5) その他

- ・資料7は本日開催のシンポジウムのポスター、資料8は24期に認められた学術大型研究計画の資料であり、参考にしてほしいとの説明があった。
- ・本会合の議事要旨は委員長に一任することが承認された。
- ・分科会委員のメールアドレスは分科会内で共有することについて承認された。

配布資料

- 資料 1 開催案内
- 資料 2 分科会設置提案書
- 資料 3 名簿
- 資料 4 第 24 期の活動の概要
- 資料 5 第 25 期の活動の計画案
- 資料 6 小委員会設立提案書
- 資料 7 「第 10 回計算力学シンポジウム」ポスター
- 資料 8 第 24 期学術大型研究計画「ソサエティ 5.0 を支える人と人工物
システム・サービスの計算情報科学基盤創成」

以上